

鍵盤ハーモニカ ギネス記録

浜松 児童ら905人同時演奏



ギネス世界記録に挑戦する参加者
11月2日午後、浜松市浜名区の都田総合公園

鍵盤ハーモニカの国内製造シェア日本一の浜松市で2日、最多同時演奏の「ギネス世界記録」更新を目指す挑戦が行われ、905人の世界記録を樹立した。

会場の都田総合公園(同市浜名区)に地元児童や県内外の楽器ファンら約1000人が集い、指揮者の合図に従って楽譜を見ずに「きらきらぼし」を5

分間演奏し続けた。演奏を途中でやめるなどした失格者を除いた人数が正式記録に認定され、2013年に同市旧北区の小学生が記録した688人を上回った。

公式認定員から記録達成が伝えられると、会場は歓喜の渦に包まれた。代表して認定証を受け取った奥山小6年の夏目花恋さん(12)、高田

さくらさん(12)は「5分は思ったより短かった。達成できてうれしい」と喜びを語った。

「楽器のまち」を世界にPRするとともに、行政区再編後の各地域の融和を図る目的で市が企画した。

(2025年3月3日付)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

- ①浜松市は「何のまち」と呼ばれていますか。記事中の漢字2字を()に書きましょう。
- ()のまち
- ②「ギネス世界記録」の達成を目指して鍵盤ハーモニカで演奏した曲は何ですか。
- ()
- ③前回(2013年)の記録と比べて演奏した人数は何人増えましたか。計算して答えましょう。
- 計算式() 答え()人
- ④「ギネス世界記録」を達成したときの参加者の気持ちを想像して、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

				5					10					15
				20					25					30

【学習のポイント】

※対象は小学校～中学校／生活、国語、算数、音楽、総合

問いの答えに関係しそうなキーワードの記事から探し、記事に出てくる人の気持ちを想像しよう。

鍵盤ハーモニカ ギネス記録

浜松 児童ら905人同時演奏



ギネス世界記録に挑戦する参加者
11月2日午後、浜松市浜名区の都田総合公園

鍵盤ハーモニカの国内製造シェア日本一の浜松市で2日、最多同時演奏の「ギネス世界記録」更新を目指す挑戦が行われ、905人の世界記録を樹立した。

会場の都田総合公園(同市浜名区)に地元児童や県内外の楽器ファンら約1000人が集い、指揮者の合図に従って楽譜を見ずに「きらきらぼし」を5

分間演奏し続けた。演奏を途中でやめるなどした失格者を除いた人数が正式記録に認定され、2013年に同市旧北区の小学生が記録した688人を上回った。

公式認定員から記録達成が伝えられると、会場は歓喜の渦に包まれた。代表して認定証を受け取った奥山小6年の夏目花恋さん(12)、高田

さくらさん(12)は「5分は思ったより短かった。達成できてうれしい」と喜びを語った。

「楽器のまち」を世界にPRするとともに、行政区再編後の各地域の融和を図る目的で市が企画した。

(2025年3月3日付)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

- ①浜松市は「何のまち」と呼ばれていますか。記事中の漢字2字を()に書きましょう。
- ()のまち
- ②「ギネス世界記録」の達成を目指して鍵盤ハーモニカで演奏した曲は何ですか。
- ()
- ③前回(2013年)の記録と比べて演奏した人数は何人増えましたか。計算して答えましょう。
- 計算式 () 答え () 人
- ④「ギネス世界記録」を達成したときの参加者の気持ちを想像して、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

					5					10				15
					20					25				30

【学習のポイント】

※対象は小学校～中学校／生活、国語、算数、音楽、総合

問いの答えに関係しそうなキーワードの記事から探し、記事に出てくる人の気持ちを想像しよう。

＜解答例＞

- ①楽器
- ②きらきらぼし
- ③計算式 905(人)－688(人)＝217(人)
- 答え 217
- ④(例)5分間の演奏は思ったより短く感じ、達成できてうれしかった。(29字)
- 楽譜を見ずに演奏したのでドキドキしたけど、できて良かった。(29字)

みんなで協力して、浜松を世界にPRする喜びを味わえた。(27字) など

＜解説＞

- ①本文の最後から3行目にあるね。楽器の会社や音楽関係のイベントも多く、よく知られているよ。
- ②本文9行目にあるね。楽譜を見ないで演奏できるかな。

- ③見出しに今回認定された人数(905人)、本文13行目に前回の人数(688人)が書かれているね。今回の人数から前回の人数を引き算しよう。
- ④参加者の気持ちに関する言葉を探し、自分がその場にいることを想像しながら答えよう。「歓喜の渦」「うれしい」などがヒントになるね。

作問者は静岡新聞NIEコーディネーター・矢沢 和宏



もっとやってみよう!と思ったら、「静岡新聞NIEワークシート」を検索してね。